

# 目次 CONTENTS



巻頭言 ..... 3

## 1. 活動紹介

2022 年度教育促進支援機構の活動一覧 ..... 4

### ▷2022 年度学生企画紹介

新入生歓迎・履修相談会 2022 ..... 5

春の公大授業 2022 ..... 6

文学部案内冊子 2023 ..... 7

学生による夏のコースガイダンス 2022 ..... 8

オープンキャンパス学生企画 2022 ..... 9

りてら café ..... 10

## 2. 特集

特集記事 ..... 11

## 3. 資料

2022 年度文学部卒業論文題目一覧 ..... 12

2022 年度博士・修士論文題目一覧 ..... 20

2022 年度支援機構研究奨励賞論文一覧 ..... 23

## 4. 付録

運営組織 & 委員一覧 ..... 24

2021 年度決算・2022 年度予算 ..... 26

教育促進支援機構会則 ..... 28

編集後記 ..... 31

# 巻頭言

2022 年度の活動についてまず言及したいのが、2022 年 4 月より当大学が「大阪公立大学」という新大学になったことである。このことは 3 年前から継続する「コロナ禍」による様々な行動制限下においてもなお、新大学を構成すべき者たちの意識のありようが、例えば、学生（ひいては大人社会全般）に蔓延している「メディア病」とでも言うべき現代社会の作法と個人の自主性・主体性に対し投げかける問題を克服しようとする努力として現れたと思われる。

この「教育促進支援機構」という団体は学生と教員から構成され、主として大学の様々な行事の企画・運営を行うのであるが、思うに、これほど、これからの学生にとって必要とされる社会への関わりの教育を自主的に行っている組織はないと思う。オリエンテーション・履修相談といったものから、夏のオープンキャンパスでの学生企画、コースガイダンス・進路相談・その他さまざまな研究・学習支援事業を行うなかで見えてきたのは、いかにメールや電子掲示板や他の SNS といったメディアに依拠した通信手段が生身の学生一人一人の思いと無関係では成立しえないということであり、いかに顔を突き合わせて互いに思いを伝えることが自身の存在意義や活動の根拠を確認させることとなったことであった（今年度より始まった「りてらカフェ」という座談会企画もそのようなコミュニケーションの重要性を認識させてくれたと思う）。

願わくは、『文学部案内 2023 年度版』テーマの「探索」という主体的な探求の姿勢がこの『フォーラム人文学』第 20 号にも反映され、多難な社会に羽ばたく学生みなさんの人間的記録として垣間見えることを望む次第である。



大阪公立大学文学部・文学研究科教育促進支援機構

2022 年度 会長 古賀哲男

(英米文学専修 / 英米言語文化コース教員)